

# 佐賀地域づくり計画書

～私たちが残したい未来をつくろう～



平成27年9月 佐賀区

## 1. 地域づくりに対する基本姿勢

平成26年6月に地区住民に対して地域づくりに関するアンケートを実施し、その後毎月11日を「佐賀みらいの日」と名付け継続して座談会を開催している。

その情報を「小姓島通信」という広報誌を作成し、地区住民に毎月発信している。（郵便局、漁協、診療所、佐賀窓口センターにも広報誌の綴りを設置）地域づくり計画を作ることが目的ではなく、実現可能な取り組みはすぐに計画し実行し、反省（検討）する。そしてまた次の行動へといった一連の流れを「行動」という動きの中で修正しながら、次に活かす指針としたい。

また、毎月回覧板に住民の意見・感想等を記入していただく事ですべての地区住民の声が反映される地域づくりを推進していきたい。



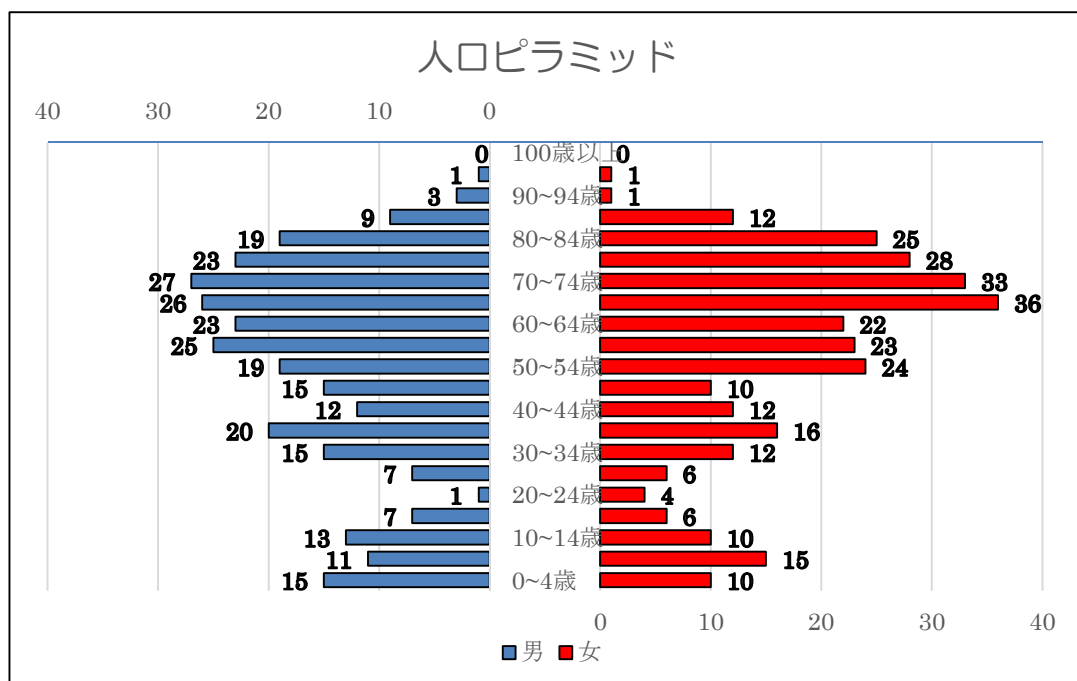
## 2. 地区の特色

東海岸屈指の良港で2つの定置網とイカ漁、採貝藻、水産加工による漁業のまちであるが、峰町地域では唯一の商業地域であり零細商業者も多い。

### 1) 世帯数及び人口（平成27年9月28日現在）

人口：597人 世帯数：295戸

### 2) 人口構成（平成27年9月28日現在）



### 3. 現状と課題

#### 1) 水産業の活性化

佐賀地区の2つの定置網の他にも志多賀地区の大漁組、志越の岡野水産と4ヶ統の定置網があり、峰町東部漁業協同組合の年間の水揚げ漁獲量は県内でも高い。イカ漁、素潜り・コンプレッサーによるサザエ、アワビ及びひじき、天草、のり、わかめ、カジメなどの水産業に携わる人が多く、基幹産業である。



平成27年3月1日に実験的な試みとして座談会有志により「佐賀朝市」を開催した。出品者を佐賀地区内に住む人限定とした点、また2つの定置網（佐賀漁業者組合と共栄組）及び定置網で捕れたイカ、魚を加工し販売・流通している（株）東峰水産や峰東女性部キッチンにも出店をお願いした。

5尾100円のサバは定置網だからこそ可能である。大漁した時は住民とともにその喜びを共有する心遣い、イカ豊漁時は新鮮なうちに即冷凍し加工する工場、アジや雑魚を加工する職場。つまりは2つの定置網のおかげによる職場の確保や家族の営みは佐賀地区の基礎となるものである。



県内でも数少ない県営漁港として港湾整備されているはずなのに、船台がないという緊急の課題がある。漁業従事者にとって漁船の修理、メンテナンスは即水揚げや出漁日数、漁獲量ひいては燃油、箱、氷といった資材にまで広く影響するため、早急に設置する。

佐賀川河川敷堆積土砂の除去が平成26年度始まったものの、わずか90m上流までであった。修理にくる漁船は鍵本鉄工前に横付けするのに、堆積した土砂により近づくことも難しい。鍵本鉄工前の土砂除去も緊急性がある。また、西地区の駄道川堆

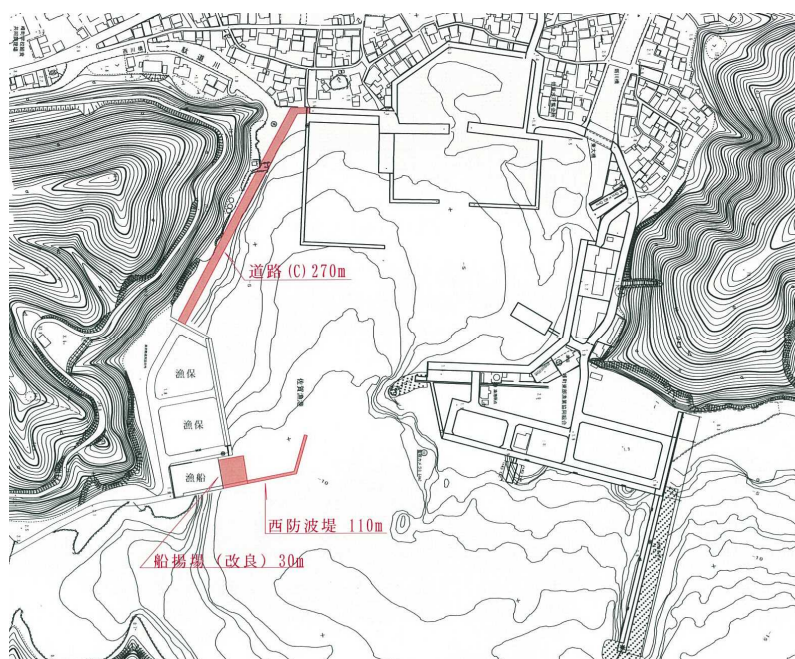


積土砂についても同様に数年に1回のペースで除去し常に流れる川であって欲しい。豊かな漁場であるには動植物プランクトンの豊かな川が必要不可欠である。



現在峰町東部漁業協同組合のアスファルト及び対岸の品江の岸壁において、定置網の補修や交換のための干し場としても利用されているが数十年も前から、佐賀地区から品江までの湾岸道路計画があるのに未だに実現していない。佐賀地区において、漁業従事者を守り、また、作業能率などさまざまな利便性を考えての公共投資は必要といえる。

対岸の品江までの湾岸ルートが完成すれば、ハートランドまでの買い物及び旧山道を利用した遊歩道、散策コースも実現可能なものになる。



## 2) 道路

近年、県道上対馬豊玉線を利用する大型バス等が増え、佐賀地区からハートランドまでの歩行者、自転車で走行する児童・生徒の目線では、交通量が多く、スピードも出ているため車両との接触等に恐怖を感じる。歩道がなく非常に危険な状態であり、歩道の設置を要求する。

また、佐賀保育所前の道路は見通しが悪く、送迎時間帯には大変混み合っており危険である。

排水路や側溝は、未整備の所も多数あり、年次的に整備していく。また、すでに消防団員との協働で側溝清掃を行っているものの、数カ所は改良工事を要望する。

## 3) 防災・防犯

地区内に北警察署佐賀駐在所、消防署中部支署峰出張所があり、安心して暮らせる地区ではあるが、防犯灯の不足により夜間危険な箇所がある。

また、災害時の避難場所の周知が行われていないため、今後、地区広報誌などで周知徹底を図る。



## 4) 子育て支援

地区内に児童遊園があり、ボランティアグループによる清掃活動も行われている。今後は、遊具などの設置を行っていく。

佐賀保育所は駐車場もなく、送迎時間帯は車が多く危険を感じる。(アンケート結果からも意見多数) 駐車場に、園庭を使用するため、雨上がりはでこぼこで、園児が安全に遊べる園庭ではない。

近隣の乙宮保育所、一重保育所、仁位保育所はへきち保育所なため、3歳未満時には佐賀保育所へ入園し、3歳になると地元のへきち保育所を利用する方が多く見受けられる。また、佐賀保育所では3歳未満児の教室が一番狭いが、職員数は他クラスより多く、人であふれており、スペースに全く余裕がない。乳児においては、沐浴も出来る環境にないため保育所を建て替え安心して子どもを産み、育てられる地区にする。



また、共働き世帯が増えるなか、佐賀地区においては学童保育、病休保育等をお願いできる環境がなく、これも、子育て世代が佐賀ではなく、仁位に居住する原因の一つと考えられるため、将来的には学童保育を実施する。団塊の世代や、教員退職者も多くおられるので、交代で子どもたちを預かる仕組みを作って行く。試験的に夏休み



に「佐賀子ども塾！地域が寺子屋!!」を開催した。今後は内容を変更しながら継続した取り組みとする。



### 5) 健康生活・福祉

超高齢化社会へ向け、在宅での介護増が見込まれるなか、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営む事ができる元気高齢者を増やすとともに、昔ながらの地域つきあいを醸成するため、スクエアステップを媒体とした、地域住民主体の「つどいの場」を平成27年1月から毎週開設している。

今後も、グランドゴルフ・ゲートボール・スクエアステップ等をとおして、人と人とのふれあいの場を増やすとともに、参加する会員の普及を図る。

また、通院や買い物に不便と感じる高齢者や障害者が増えていくことが予想されるため、店舗や他のサービスとの連携も視野に入れながら、送迎サービスを実施する。その他にも、高齢者世帯では、電球の取り替えや重たい物の移動等できずに困っている方も多く見受けられるため、回覧板にてボランティアで「ちょっとしたお手伝い」をしていただける方を募り、手助けできる仕組みづくりを計画し実行する。



### 6) 環境衛生

地区内にEM菌活性装置が設置されており、いつでも自由に使用することができる。目の前が海である地区なので、家庭用排水などがそのまま流れている所もあるため、今後もEM菌の活用や生ゴミバケツの活用を推進していく。

また、ゴミステーションの数や配置場所等、痛みの激しいゴミステーションもあり、計画的に整備していく。

### 7) 伝統文化の継承

平成17年を最後に9年間お休みしていた「亥の子」を平成26年12月6日に復活させた。今後も、子どもたちを通して大人たちもうまくつながる事ができる地



区、大人から子どもまで笑顔で暮らせる地区であるよう、いのこや子ども神輿など伝統行事を継承していく。



## 8) 地域資源

- ①火葬場下の公園の清掃及び火葬場までの山道の整備を要望する。
- ②近年、和多都美神社の松が枯れてきている。松枯れ対策をしていく必要がある。
- ③河川敷の雑木の根が張り道路の形状が変わってきている。雑木の枝打ち及び間引きの必要がある。
- ④室町時代前期を通じて島府が置かれ、島主宗氏は佐賀地区で全島を支配し、応仁2年に巖原に移るまでの間、3代に亘り住んでおり円通寺は宗氏の菩提寺であった。そのため、宗家墓地の史跡や県指定文化財の「円通寺銅造薬師如来坐像」及び「円通寺梵鐘」があり、多くの観光客が集まるが、有害鳥獣等により、裏山が荒らされており、整備が必要である。
- ⑤品江から千崎までの市有地は広大であり、風力、太陽光等の自然エネルギーその他の有効利用を計る必要がある。



## 9) 有害鳥獣

ここ数年、畑・家庭菜園等に相当なる被害、山の斜面に下草が無くなり雨が降るごとに土砂の流出がひどくなっている。個人が防護柵で被害を止めることには限界があり、夜になると鹿が街中を悠々と散歩し各家庭の庭に入り込む状況を考えると被害を減らすためには、個体数を減らすことをしないと解決できない。



上県町女連地区の“ほかく隊”をお手本に、有志を募って、地区内に“やっつけ隊”を立ち上げる。今後は、市や狩猟従事者との話し合い、「わな」の設置、えさやり、見回り、殺処分後の穴埋め、証拠写真など話し合いを重ねながら進めていく。

## 10) 空き家対策について

毎年4月の人事異動時期になると、住宅を求める方がいるが、空き家はあっても居住できるところがなく、結局仁位へと人が流れている。単身者はもとより家族連れ世



帯については、保育所、小中学校の活性化のためにも、佐賀に住んでもらえるよう早急に空き家対策を進める。また、景観も悪いので、入居できないほど老朽化した建物は解体する。

#### 1 1) その他

佐賀地区には、昔から（昭和 50 年頃より）、18 銀行対馬支店の銀行員 2 名が平日に巖原から商工会にやってきて、簡易の銀行窓口として地区内及び近隣地区の人まで利用していた。その後、商工会内部に峰支店、さらに数年後 2 階建ての峰支店、現在は諸事情により ATM だけになっているが、郵便局はもとより、本年 11 月より島内ではめずらしく峰東部漁業協同組合内においても ATM が設置される運びとなっている。

保育所、小学校、中学校においても、櫛小、志多賀小・中、南陽小・中といった、各小・中学校とも統合・合併しており、地区内 295 世帯（約 600 名）とはいえ、中核都市である。アンケートにおいても、郵便局、診療所、歯科診療所火葬場まで、とにかく今の生活環境がこれから先 10 年後もその先もずーっと続くことが、佐賀地区で生活する住民の総意見であった。

世帯数と人口の割合に対して、市議会議員が 2 名もおり、また、現区長になってからは、各種団体における各々リーダー的立場の人達との結びつきもあり、どちらかという活動的な地区というイメージさえある（リーダー性の高い人たちが多い）。

しかしながら、昨年 3 月より歯科医が不在で峰歯科診療所閉鎖のままである。また、武林医師が 88 歳という高齢を考えると、将来的に新しく歯科医及び医師の確保が必要である。



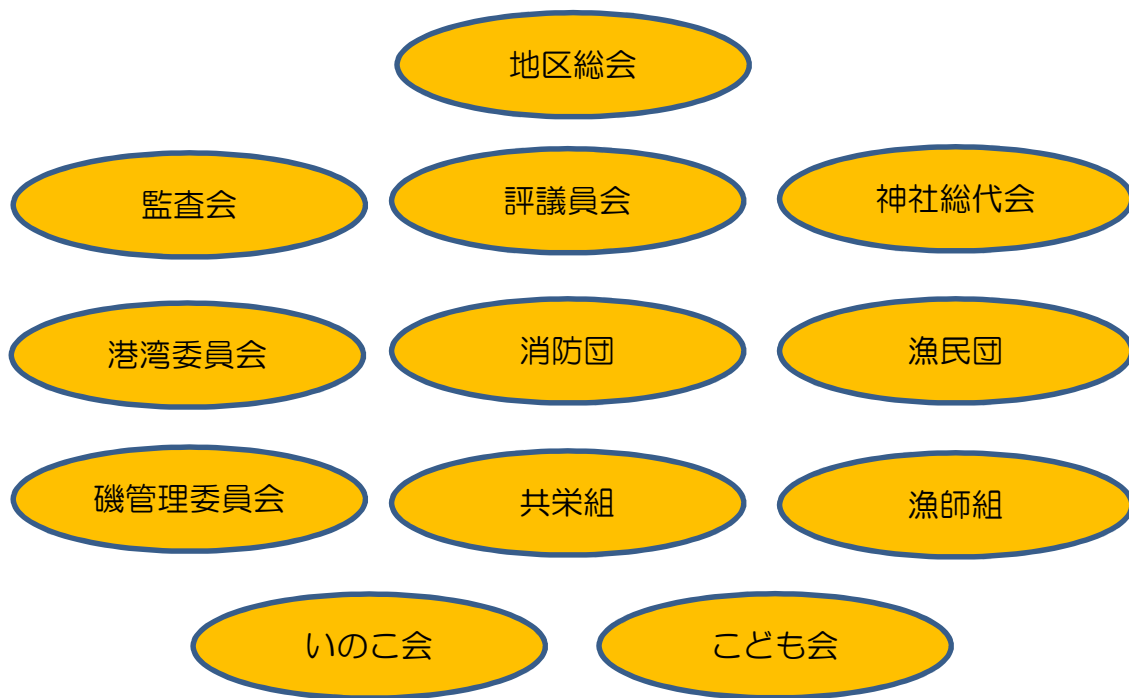
#### 4. まとめ

他地区に比べて、佐賀にはいろいろな施設が揃っており、近隣地区からも多くの人々が利用している現状を考えると、課題もそれだけ多くあり、一つ一つを文字化するのは効率が悪いとも考えられる。とりあえず、現段階での急を求めるもの、さらには既に有志により取り組んでいる各種の実験的な事業を通して、改善・改良を重ねながら善処していく姿を将来の子供達に見せるという“行動”をしながら、地域づくりに取り組みたい。そのため、数年後には再度計画を見直し、計画書を提出する。

『市民と行政がそれぞれ責任を持って行動すること』



この一点に尽き、佐賀地区の良さ・豊かさを認めることは出来たと思う（子供達へ遊びの伝承・水産業の活性化）。それらを「どう活かしていく」かが、次のテーマである。



たくさんの各種団体があり、それら全て願いは同じ  
“幸せ”

## ～地区内の住民間で解決すべき問題～

### ◎現在 295 世帯

⇒東 19 班、西 16 班の計 35 班。少し多すぎるのではないか。

### ◎総会に出席する住民が少ない

⇒2 年に 1 度の評議員選挙（役員改選）は、たった 3 票で評議員をやらされる。  
評議員や、総会のあり方、選挙制度を考え直すべきではないか。

### ◎区費

⇒未納世帯がいるとのうわさがある。住民票の上では同一世帯だから？

### ◎地区評議員計 10 名＋市議 2 名 評議員 12 名

80 歳代 芳田八郎（監査）、上崎次男（監査）、山岡登

70 歳代 双須敏彦、吉田一義、権藤種夫、兵頭栄

60 歳代 梯克彦、武田裕嗣、兵頭泰文

50 歳代 双須軍治、上野洋次郎

⇒40 歳代、30 歳代がない点

⇒80 歳代は顧問を新設すべきではないか。

⇒消防団（分団長、副分団長）経験者はぜひ評議員へ。

⇒総会に行きたくない人ばかり。行きたいと思う工夫が必要。

### ◎その他

小さな問題をあげるときりが無い。しかし「街路灯を新設して欲しい」と市にお願いした際、「50m 以内に他の街路灯があるので出来ない」と回答されると、不便だからお願いしているのに、住民感情としてむなしくなる。どこまでが住民で、どこからが市なのか本当に分からなくなる。解決すべき問題は、多数あり。

朝市及び佐賀子ども塾！地域が寺子屋！については補助金による事業である。

補助金なしで各種事業計画を推進することを理想としているが、今はまだ、行政と地域マネージャー各位に頼るところが大きい。

# 佐賀地区地域づくりアンケート調査結果

## (1) 佐賀地区地域づくりアンケート調査実施要綱

### 1. 目的

佐賀住民を対象とした「地域づくりアンケート」を実施することにより、地域の課題や要望を明らかにし、今後の地域づくりの基礎資料を得る。

また、地域づくりについて、幅広い住民の意見を今後の取り組みに反映することにより、住民の協働意識の向上を図り、地域づくり参加を促進する。

2. 実施主体 佐賀地区地域マネージャー

3. 調査対象 佐賀地区全世帯（1人世帯を除き、各世帯2部配布）443名

4. 調査期間 平成26年6月15日～平成26年7月6日

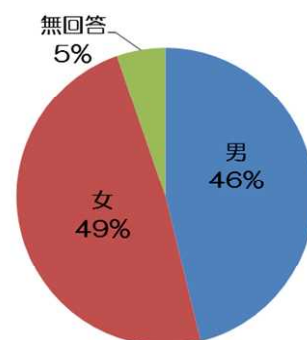
5. 調査方法 地区班長より配布、回収（無記名自記式）

6. 調査回収率 68.4%（303名）

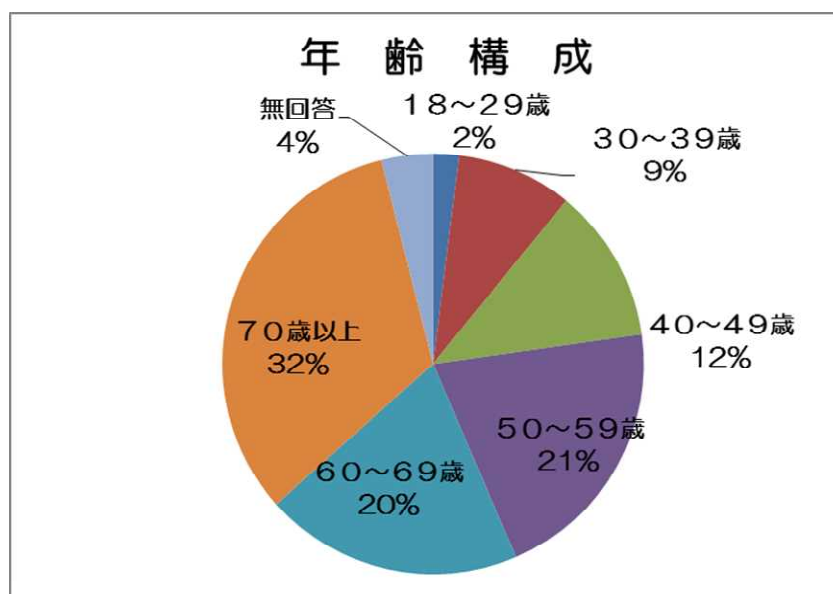
## (2) 調査結果

問1 あなたの性別はどちらですか。

	男性	女性	無回答	計
回答者数	140	147	16	303

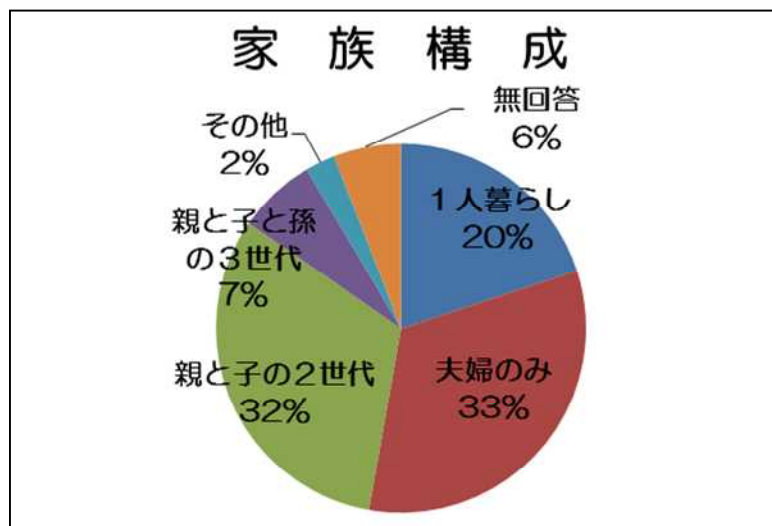


問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。

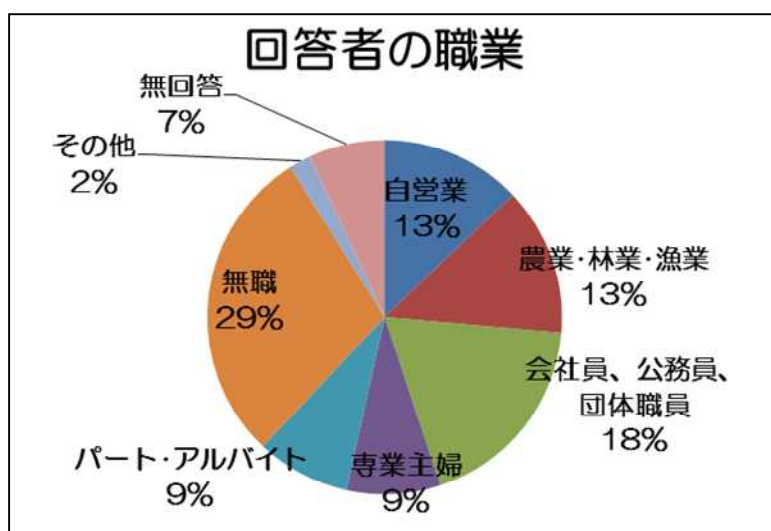




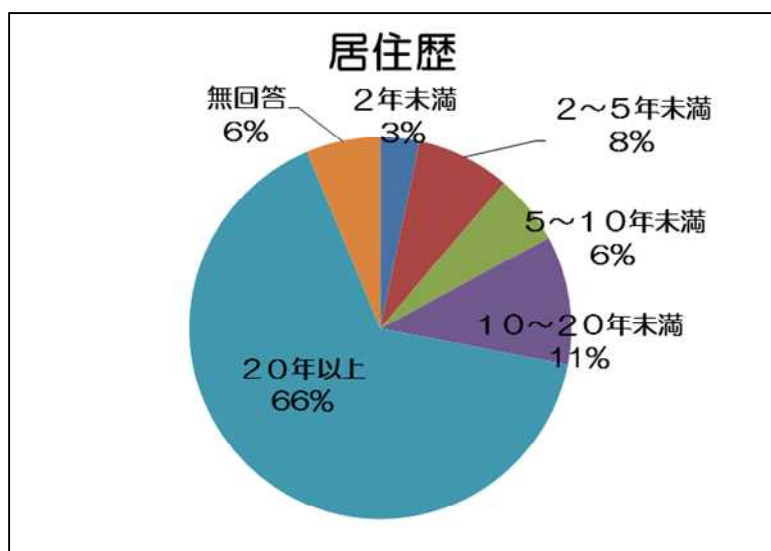
問3 あなたのお宅の家族構成は、次のうちどれですか。



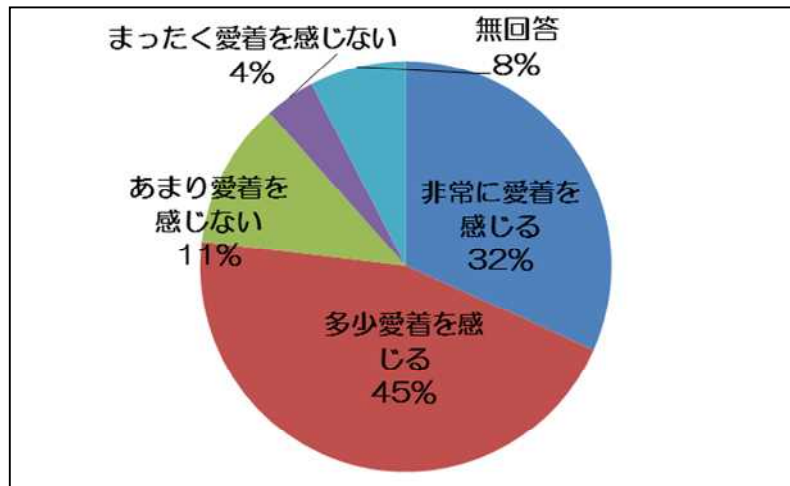
問4 あなたの職業は、次のうちどれですか？兼業の方は最も収入の多いものを一つだけお選び下さい。



問5 あなたは、佐賀地区にお住まいになって、何年になりますか。



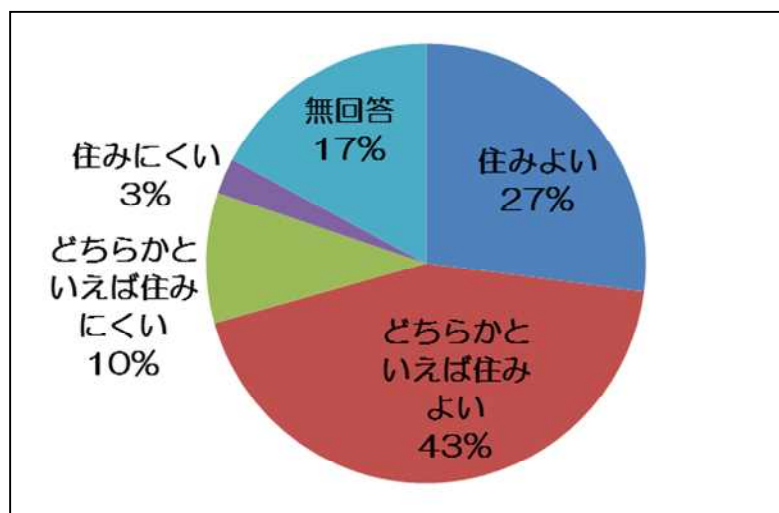
問6 あなたは、佐賀地区に愛着を感じますか。



●愛着を感じられない理由は何ですか。1つだけお選び下さい。

1. 人口が少なく寂しいから (11人)
2. 文化が低いと思うから (9人)
3. 歴史や伝統がないから (1人)
4. 生活するうえで、不便だから (20人)
5. 働く場が少なく活気が乏しいから (5人)
6. 風紀がよくないから (3人)
7. その他
  - ・人と人の繋がりが乏しいから (1人)
  - ・地区のつながりが薄いと思う (1人)
  - ・特になにも理由はない (1人)

問7 全員の方におたずねします。佐賀地区は住みよいところとご思いますか。それとも住みにくいところとご思いますか。1つだけお選び下さい。



●住みよいと思うのはどんな点でしょうか。2つまでお選び下さい。

1. 人柄、人情がよい。(79人)
2. 親戚や友人が多い。(68人)
3. 日常の買い物が便利だ。(101人)
4. 物価が安い。(4人)
5. 通勤、通学などの交通が便利だ。(32人)

6. 文化施設や公園などの憩いの場が整備されている。(3人)
7. 学校や保育所などの教育施設が整っている。(23人)
8. その他(25人)
  - ・故郷だしのんびり暮らしている
  - ・保育所～中学校までの教育機関、警察の駐在所や消防署漁協や郵便局など他の地区に比べて揃っているところ
  - ・他人の目を気にしないでいい
  - ・ここしか知らないので住みよいと思う。
  - ・昔ながらの育った地なので愛着を感じながら生活している。(2人)
  - ・佐賀の住民だから
    - ・田舎だから
  - ・慣れ親しんだ土地、地域
    - ・地理的に便利
  - ・人間関係 干渉しないところ
  - ・上にも下にも真ん中なので行きやすい。
  - ・仕事上で上にも下にもいきやすい
  - ・銀行、郵便局が近くにある。
  - ・他人に干渉されることがあまりない方だから
  - ・自然が豊かと思う
  - ・生まれ育った土地だから・・・と思います。
  - ・買い物には不便だが友達が多いので
  - ・佐賀で生まれたから 思い出が多いから

問7-2 住みにくいと思うのはどんな点でしょうか。2つまでお選び下さい。

1. 人柄、人情がよくない。(11人)
2. 人間関係がわずらわしい。(14人)
3. 日常の買い物が不便だ。(12人)
4. 物価が高い。(4人)
5. 通勤、通学などの交通が不便だ。(2人)
6. 文化施設や公園などの憩いの場が整っていない。(4人)
8. 病院などの医療機関が整っていない。(7人)
9. 親戚や友人が少ない。(1人)
11. 田舎で寂しい。(1人)
12. その他(2人)
  - ・近くに働く場がない。
  - ・交通上の危険がある。

問8 10年後の地区、こうなってほしくないと思うことがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・若者の都会進出
- ・人口の減少(極端な人口減になって欲しくない) 13人
- ・このまま何となく時間だけが過ぎ、子供が減り、高齢者が増え活気のない地区になること。
- ・①活性化の案はもちえません。「海」こそ命ですね。せめて花いっぱい運動はむずかしいですが、東中の朝の清掃活動が(毎日)なくなって久しい。1ヶ月に1回または、2ヶ月に1回、かん、びんごみ集めをそれぞれ有志でやってはどうか?軽トラ1台ごみ袋の経費はかかってしまいますが。ゴミ袋の無償化ができればごみ捨ても減るとは思いますが、全国的に有償化の流れのようですから無理でしょう。個人的にはいろいろ発生するでしょう。海に流れ込むゴミを減らしましょう。
- ・②これは、難しい。独居老人がこれだけ多くなれば生活館か西の窓口センターを解放し、お茶などは自分で持ち寄り自由に過ごせる場があればと考えます。



常識に欠ける大人が増えること・・・。交通ルールのマナーについて現在18BKATM前に逆走状態（進行方向反対）で車を停車している人がいる。これを見た子供たちに10年後まねしてほしくない。大人の自覚を希望したい。

- 18BKや郵便局などの公共施設がなくなってほしくない。（2名）
- 学校がなくならないよう
- 現在のまま小店は残して欲しい（閉店しないように）（3名）
- 人口の減少 歯科診療所の廃止 学校の廃止 診療所の廃止
- 人口減少により生活がやりにくい。大型産業を誘致し働く場所を望む。
- いのししやしかが増えても困りますが、車からの投げ捨てはなかなか止まいませんよね。道路わき等には本当にいっぱい投げ込まれています。
- これ以上活気のない地区になってほしくない。
- だんだん人口が少なくなるので何かひとつ共同で楽しむことができると思う。
- 今までのように病院、局、ダイレックスが近くであってほしいと思います。病院が新しくできるようですが、安い運賃でバスでもいけたらなあと思います。
- 働かない老人、無職、生活保護の人ばかり増えてきた
- 空家が多くなっているので子供達にとって危険な場所が増えて欲しくない。
- ここで生まれ育ちましたが、仕事のため一時故郷を離れました。今住んで生活しているところは佐賀しかありません。でも本当にはがゆいことだらけです。どうしてこうなってしまったのか、なるようにしかならないいくら思っても思いが通じない。若い世代のみなさんお願いですからあきらめないでください。佐賀を楽しい元気な街によみがえらせて、10年後生きていたら感謝します。
- 高齢化が進んで欲しくない。（3人）
- 学校の統合
- しか、いのししの増加（2人）
- 現在よりも不便にならないことを希望します。
- 二つの定置があり、毎年配当があり年金暮らしにはうれしい。
- 人の数が2/3になると思います。
- 子供が減る 活気がない、少子化による学校の統廃合
- 若者が減り、子供たちが少なくなり子供たちがさみしい思いをするような地区にはなってほしくない。
- 人口増大になってほしい。歯科医を早く
- 10年後、店がほとんど閉まって、年取った人がいなくなってしまう。若い人がいないのでは・・・。
- 診療所がなくなるのは確実である。若者が少し地元のことをしっかり考えて愛着を持って欲しい。
- 人口が今より少ない。野良猫や野良犬が放置されている。
- 大人も子供も責任感のない人間になってほしくない
- 道行く人々が高齢者ばかりで若者や子供の姿が見られないようにはなってほしくない。
- 漁場、商工業者の弱体化 目に見えています。高齢化が進んでいるので高齢者ばかりの町にたくない。これからについては対馬島全体の問題ですね。
- 生産活動に従事している若者層は、生活の主力である漁業に対し認識が薄い。又、経済活動は劣弱で収入を得る職場がない。
- ごみと草だらけの空き地が多くなる。
- 子供が少なくなる事、活気ある元気な町に！
- 人柄がよくないのはさみしくなります。まわりの人にやさしくする心があればもっと住みやすくなると思います。
- ゴミを海に流さない。ルールを守る事にこころがけてほしい。
- ヤブだらけ
- 老人ばかりで若い人が働ける場があると佐賀の人口も少しでも増えるかと思

- まず、過疎化が進み若い人が居なくなり学校など閉校になると淋しい
- 人口の減少により学校がなくならないでほしい。(8人)
  - 人柄、人情がうすれないこと 住民への関心がうすれない(2人)
  - 今のように車が多くないほうがいい
  - 漁師がいなくなる
  - 若い方が少なくなり街が子供の声や若者の元気がない街になってほしくない。若者の元気がない街になって欲しくない。
  - 空き家が多く地区から元気な子供の声が聞こえない
  - 仕事が減ることが一番の心配。
  - 子供たちが増えて欲しい
  - 主産業である漁業資源の枯渇による漁業従事者の離職が進行すれば佐賀地区でも限界集落となりかねない。漁場環境の保全、漁業従事者(後継者)の育成がおろそかにされれば地区の存在そのものが危なくなる。
  - 道脇に身体を休めるイスがあるといい。
  - 10年後のことはあまり考えたくないけれど、たぶん年寄り多 子供 小 今の年代 介護生活
  - バスの路線がなくなって欲しくない

問9 10年後の地区、こうなってほしいと思うことがありましたら、ご自由にお書きください。

- 地域の活性化、明るい町づくり、元気な佐賀になってほしい(7人)
- 年とった人のカルチャーセンターがあったらいいな。ジムとか、習い事。
- 福岡の行きジェットホイルが入港するようになれば良い。
- 北九州の若松や東京のお台場の規模まではないとしても少しでもキレイな海を次の世代に残してあげるための活動。地域一体になり他地区にない魅力を創り出し→ブランド化→情報発信→集客→雇用をつくり活性化。(佐賀地区独自のまちおこし事業) 対馬中の人たちが休みの時に行きたくなるような街！！
- 子供も大人も皆顔見知りで、誰とでも挨拶をかわす、明るい地区であってほしい。
- 交通量が少なく静かな地区になってほしい。便利さはもういらぬ。平穩に暮らしたい。老人ホーム等もっとたくさんあればいい。
- バスの便(交通が不便)良くなり、レストランが1件でもできてほしい。
- 人口の増加。
- 漁があってほしい。
- 若い人の働く場所が増え、大勢の子供たちの遊ぶ声が聞こえる様になる事
- 甘えることはできないが年を重ねると外出できなくなる。買い物、病院等・・・そんな生活をサポートしてくれる団体(ボランティア)でもあれば安心。
- 明るく区民全体が一つになれる催しがあれば楽しみも生まれてくるとも考えます。若い人が喜んで働けるような事業があればいいのにとおもいます。
- 若い人がいろんな事に関心を持ち、いろんなイベントに人が集まるような地域になって欲しい
- 学校の近くに児童館を作って欲しい。佐賀地区は共働きが多く近くても仁位の児童館まであずけにくい。
- 島内に働き場が増え、人口が増えることを望みます。(2名)
- 若い人の仕事が増え、子供や高齢者が安心して生活できる地区になってほしい。
- 佐賀は対馬の中心です。佐賀がよくなれば対馬の発展はありません。佐賀に大手企業の支店とかできないのでしょうか仕事をつくってください。若い人達がUターンしたくなる場所を絶対に実現してほしいと思ひます。
- 開業医の募集 農業と漁業の学校 いろんな物のブランド化 若い人の起業支援
- またすぐ老人会が出来ると良いと思ひます。
- 魅力のある飲食店が2、3軒ほしい
- 子供たちに活気があり、地域全体が親しい地区になってほしい

- お年寄りや小さい子供が安心してゆっくりできるような大きな設備のととのった公園ができてほしい
- 花を植えて公園を広くして人が集まるところがあったらいいと思う。名所がないので・・・。
- 町外にでている子供たちがUターンできる様な職場交流の場をもっと作って欲しい。高齢者施設と保育所を廊下つづきで交流出来る場所があるといい。介護タクシーや代行買い物がこれから先は必要になってくると思います。
- 近くで安くてなんでも揃うところがほしい。
- 若者の働く場が増える。お年寄りがさらに元気に活躍される。
- 若い人が住みやすい地区、川沿いに「にれの木」ばかりだから桜を植える。川をきれいにして虫が飛ぶようにしたい。佐賀には花見ができる場所がないので人の集まる場所をつくる。
- 対馬を離れている若者たちが帰ってきてにぎやかな町になってほしい。
- 地区の交流的な事業があってもいいと思う
- 人口が増え店や娯楽の場が増え、活気ある町になってほしい。
- 大人から子どもまでが笑顔で暮らせる地区になったらいいなと思う
- 活気ある夢がもてる佐賀地区になってほしい。年をとっても地域全体が1年に1度でもいいから、行事ができたらいいなと思います。
- 生活の場を開発してください。そうすれば、後継者も住み着くことができる。地区の長男が本土で働いている。(生活が佐賀でできれば住み着くのです。特に長男、後継者)
- 高齢者の住みよい佐賀地区になっているといいなと思う
- 地域の子供たちをかわいがり助け合いの気持ちに仲良くしていけたらいいですね。必要以上に他人にかかわりすぎない様に、世の中があぶなければいけないけれど、わかりあえる人間になれば幸せです。
- 全世代が会話に参加できる地域でありたい。
- 子供が多くなって、雇用も増え発展させたい
- 若い人たちが働ける場所（2人）
- 町の中にごみが捨てられていない
- 若者も高齢者も生き生きと生活できる地区に。人口が減少しないでほしいと願っています。漁業が活気づけばいいですね。
- ルールマナーを大切にする地域（環境、ごみ捨て） ・笑顔であいさつを交わす住民のつながり
- 今まで以上に心やさしくどんな苦しいことでもお互い助け合って生きていきたいです。
- 人口が増え景気が良くなればいいと思う
- 10年後は生きてないかもしれないけど、子供たち孫たちが幸せになってもらいたい。そして元気でいてほしいですね。
- 子供がたくさん出来て、人がたくさん集まる地区にしてほしい
- 皆で豊かで楽しく暮らせるといいです。
- 若者が働ける場がたくさんできればと思います。
- 進学校ができてほしい（2名）
- 誰もが支えられる街になるよう小さな事から始めていきましょう。リーダーもたくさんおられ、いい街にしていけるとと思います。他人の暮らしも大切にできる文化が必要かと。
- 若者も高齢者も互いに助け合いともに少しでも住みやすい街にしようという元気がある街になって欲しい。
- 小中学校の保護者でない人も子供たちとの交流が持てるような地域になってほしい。又子供たちを通して大人たちもうまくつながる事ができる地区になるといいと思う。
- 若手の方が居住して子供が少しでも増えたらいいなあとと思います。大人と子供た

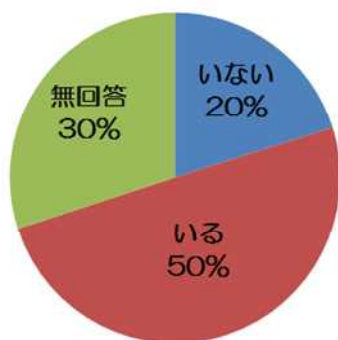


ちがふれあえる行事を行う。

- 役員等の世代交代が進み多くの方が地区の運営等に関心を持ち、又意見等が反映されること。
- 住民が生き生きと働ける場があり、魚がとれて活気のあるまちでありたい。
- 佐賀に住みたいと家を探しているという話をよくきくが借家があまりない。空き家は多いのに。
- 佐賀地区はJI1から千崎までの広大な対馬市の所有地があり、何も利用されことなく放置状態である。地域には地域を維持するための産業振興その他の社会基盤が必要であり、この市有地を最大限活用していただきたい。(宇久島では島の1/3の面積となる広大な土地に風力発電を設置し、充電収益をもくろむとともに農地として利用し島の活性化を計画中であり、一つの参考例である。)
- 佐賀地区にいたら道脇の花壇がきれいと言われる様にしたい。野母崎の岬の椀島は佐賀地区と同じくらいですがすばらしいです。
- 他の町まで買い物や病院に行くことなく、佐賀地区内でもっと便利になってほしい。車の運転が出来る人はあたりまえの社会観がただよすぎ、バスの便がもっと増えてもっと生活しやすい街になってほしい。
- ゴミのないきれいな地区であってほしい。
- 10年後も住んでるのかな？車の運転できないようになればバス利用に病院遠くなる そしたら別の所に住むかもしれない 年とともに便利なところがいいな 大きな年寄りの施設でもできるかしら？ 年寄りの地区
- スーパーが欲しい。(2名)

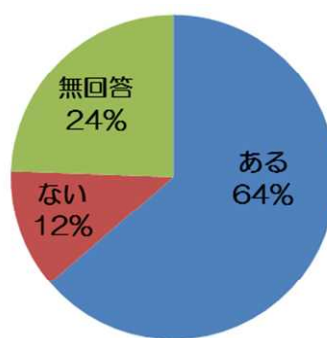
10 全員の方にお聞きします。現在の佐賀地区の現状について、該当するものに○をつけて下さい。

●防災、防犯体制は整っていると思いますか。



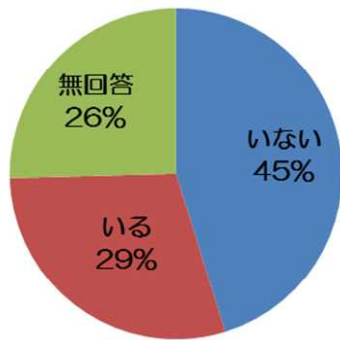
- 意識が低すぎる
- 防犯・防災について地域での話し合いがない。
- 近頃鍵をかけて出るようになった。
- 鹿などがでて怖い
- 駄道川はアトラス～中村スタンド間で土砂堆積

●災害時の報知（サイレン等）は整っていると思いますか。



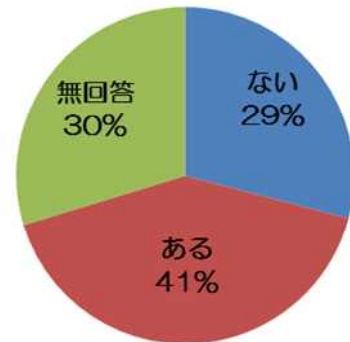
- 茂った草等の為、河川が氾濫する。
- 6分団格納庫壊れている。
- 近くに消防署があり、整っている。

●夜間、暗い所に防犯灯は設けられていますか。



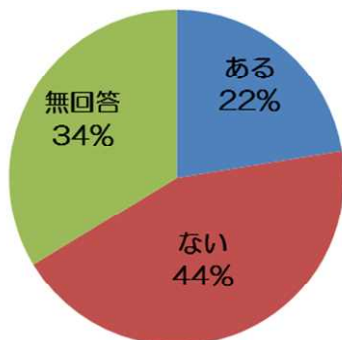
- お墓の近くはもう少し必要。(2人)
- 波止場近くのカーブ。
- やまきの前の橋に以前ついていたのがなくなって危ない。
- 必要な場所がある。
  - 大通り。
- 防犯灯は少ない。
  - 間隔が遠い。
- 東本浜市様宅から東本清次様宅まで夜くらい
- 給食センターより西側は街灯が少なく暗い。

●雨が降ると水に浸かりやすい住まいはありませんか。



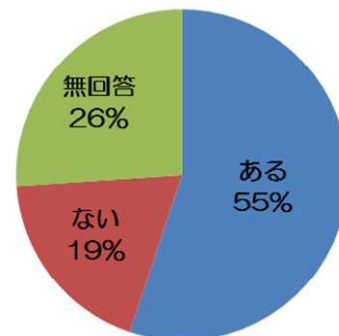
- 商工会前と中村ストアー前
- 中村ストアーから病院前
- 中村ストアー前
- 十八銀行前
- 県道八坂さん～中村ストアー前

●崖崩れや落石の危険にさらされている住まいはありませんか。



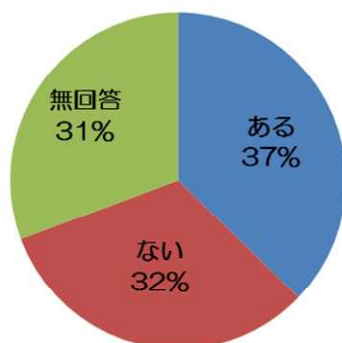
- 山のふもとはずべて。
- 鹿、いのししの被害で雨が降れば土砂が流れる。
- 工事中の法面。
- 藪田梅夫様宅から梯孝弘様宅の裏山
- 中学校の近く

●災害の危険性がある時、避難する場所がありますか。

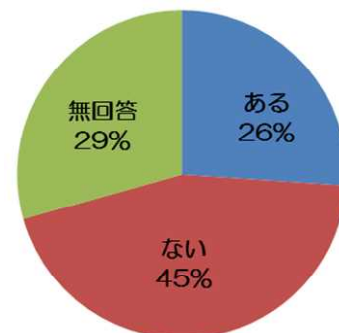


- 津波の際、避難できる高台にある建物
- 地区内での災害時の話し合いなどないのでわかりません。
- 生活館、中対馬開発センター(4人)
- 避難所など周知ができていない。

●見通しが悪くて危険を感じているところはありませんか。



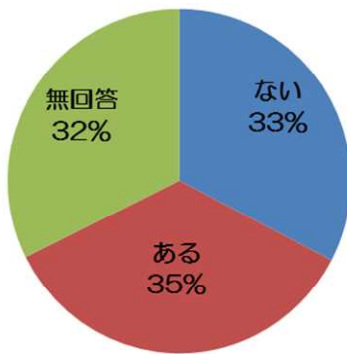
●カーブミラー、交通標識等は必要に応じて設置されていますか



- ・松村泰義さん宅裏。郵便局の前（2名）
- ・カーブミラーが不足している。
- ・保育所から学校へ行くカーブが危ない。（3人）
- ・十八銀行の前と横。（2人） ・橋本商店付近
- ・佐賀神社裏の公園へ行くまでの裏道。
- ・沖津商店から本道に出る道。
- ・兵丹前の三叉路。  
木が茂っていて両サイドが見にくい。  
宣伝、木板などを取り付けている。
- ・中村ストアー前に駐車している車で車が見にくい。
- ・車が通っていても横断する人がいる。

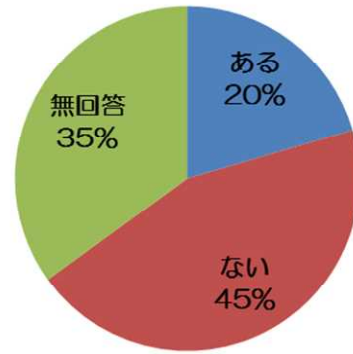
- ・安兵衛前から旧 NTT までは通学路になっている。ミラーやスクールゾーンの文字が必要。
- ・やまきさんの前の橋にカーブミラーをつけてほしい。
- ・田中水道さんの三叉路のところに欲しい。

●地域内道路で段差があって、高齢者や障害者等に危険と思われるところはありますか。



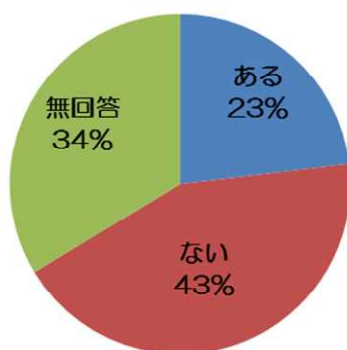
- ・中学校の横の道路根が浮き上がっている。
- ・交通量が多い（特にトラック）ので歩道を作してほしい。
- ・人道がせまいので危ないと思う。
- ・診療所と道路側との段差
- ・港工事に伴う道路と荷揚げ場の境
- ・自宅付近にはみあたらない。高齢者は平地でも一寸の凸凹で躓いて転んでいる。
- ・診療所の反対側の前
- ・県道から小さい道へ入る時の段差
- ・道路にある側溝のふたが凸凹でつまずく
- ・兵頭ストアー西側、安木若子さんと兵頭建材の東側

●子どもたちの遊び場は、大人の目の届く状態になっていますか。

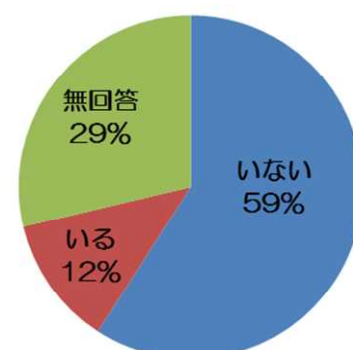


- ・神社横の公園、運動場。
- ・夏休みなど見守りが必要。
- ・公園などの遊具の点検などを徹底してほしい。

●遊び場は、子どもが安全に往復できる場所にありますか。

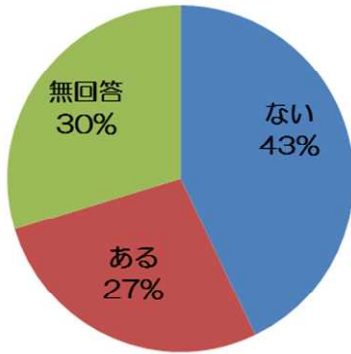


●健康づくりのため、勉強会、体力測定、スポーツ教室、スポーツ活動などを計画的に行っていますか。



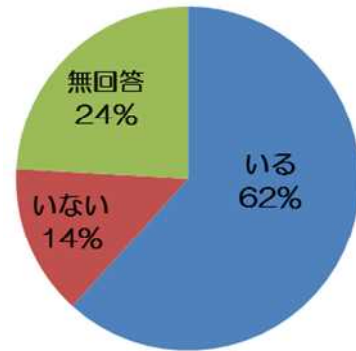
- 県道は観光バスやトラックが多く少し心配です。
- 危ない時もある
- 公園と名のついた場所は子供の遊び場所ではない。
- 歩道がない為に小さい子供も車道を通行している

● 気楽に楽しめる軽スポーツや催し物ができる広場が近い場所にありますか。



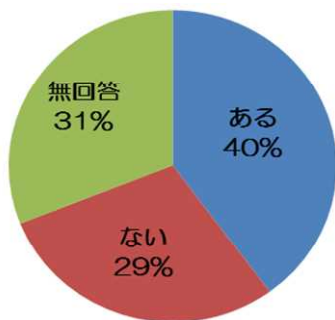
- 開発センター大事にしてほしいです。
- 消防の事務はやめてほしいです。
- 公園と名のついた場所は子供の遊び場所ではない。
- 学校、生活館、開発センター（2人）
- 学校しかなく自由に使うことが出来ない。
- 開発総合センター

● 道ばた、河川、山林、空き地などにゴミ、空き缶などが捨てられていませんか。



- 東地区の河川
- シナ工旧道海側
- すべての道路がある山
- 特にたばこの吸い殻
- 佐賀川      • 川の中のゴミ
- 東地区の川へのゴミ捨てが多い

● 生活排水が、直接、道路、耕地、用水路河川などに流されているところはありませんか。



- 立山の下団地から病院横の用水路が詰まっているので雨水の流れがおかしいと思う。
- 家庭の捨て水はすべて河川に行っている。
- 教員住宅付近？
- 佐賀の側溝はどこも臭いです
- ゴミを川や海に捨てるのはやめて
- 阿比留鮮魚店前の道路の悪臭
- 住宅の前の川（佐賀のグル団地）

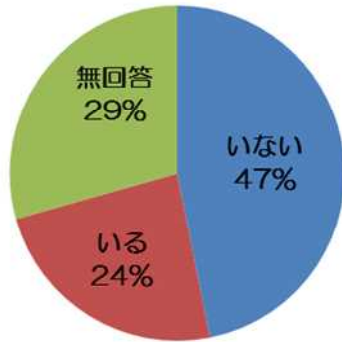
● 将来に残しておきたい自然（山、河川、景観地、珍しい動植物）がありますか。



- きれいな海
- 神社の松の木の一部がかれている。薬を注入するべき。
- 東小学校入口の大きな木を撤去されたことは寂しい。
- 歩いて自分たちが探すこともよいと思う。
- 白浜、小姓島（6名）
- 新佐賀トンネルの下のもみじ（2名）
- 蛸
- 村中の山をセメントで覆い景観は台無し。

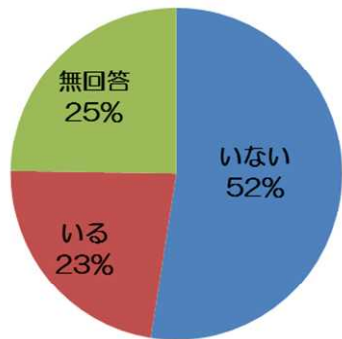


●地域内美化のため、花づくりや緑化活動などが行われ、整備されていますか。

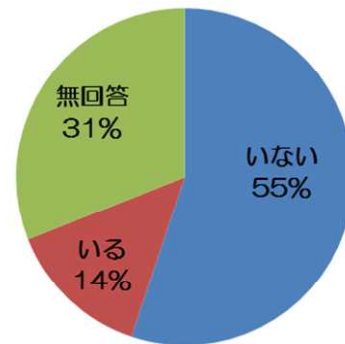


- ・ところどころされているがないところが多い。
- ・無駄
- ・猪鹿の数が減らないと対馬の自然は崩壊する
- ・少し
- ・桜や花を植えたりしていない
- ・病院付近（川沿い）

●みんなで楽しめる祭り、盆踊り、運動会などの行事が、住民の賛同を得て計画されていますか。

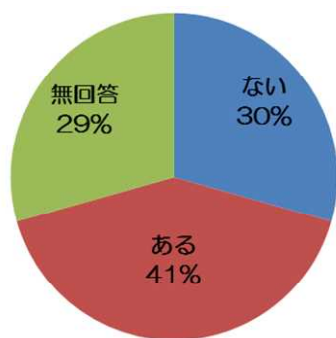


●ふるさとの歴史、芸術、芸能、物財などの掘り起こし、保存、伝承などが行われていますか。

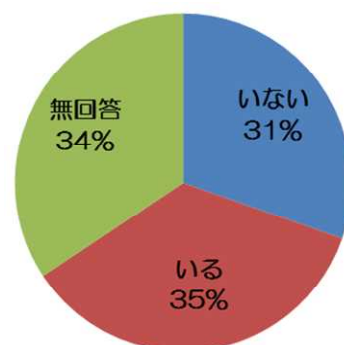


- ・少ない気がする。もっと沢山祭りをしてほしい。
- ・運動会は学校行事ですが、盆踊りについては、役員さんの祭り。飲み会ばかりでまったくなくなってない。盆踊り復活してほしいです。

●寺社、名所旧跡、名物名産、人財、物財など、自慢できるものがありますか。

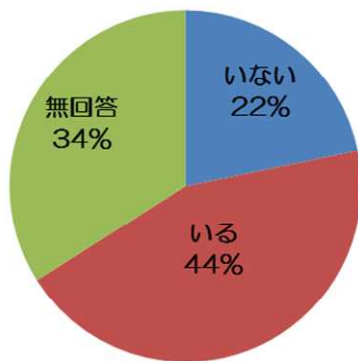


●名所旧跡、物財などの管理、清掃などが行われていますか。

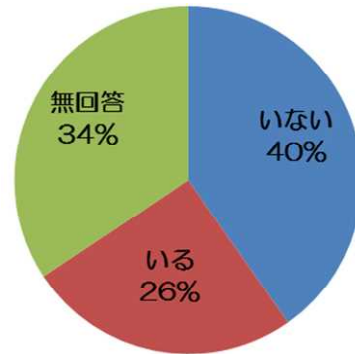


- ・宗家の墓（6人）
- ・円通寺、寺の鐘（13人）
- ・佐賀のたいやき（5人）
- ・小姓島（4人）
- ・お寺の松の木は急がないと3本かれるかもしれない。
- ・神社の松
- ・シナエ山上より見る景色
- ・幕藩時代の寺もあるが知られていない。
- ・するめ

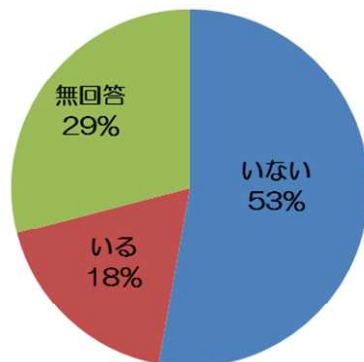
●集合時間の厳守、会合や共同作業への出席敢行、あいさつ敢行などの申し合わせがなされていますか。



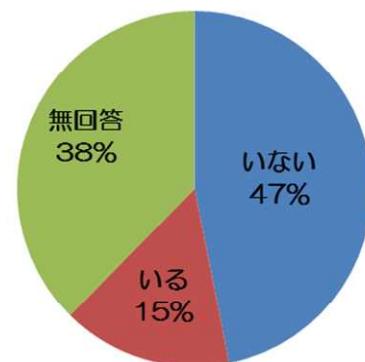
●祝儀、葬儀、病気、事故、災害などの手伝いや見舞い、作業の手伝い、留守中の子供や高齢者の世話などの申し合わせがなされていますか。



●婦人会、青年組織、子供会、老人会などがあり、計画的に活動していますか。

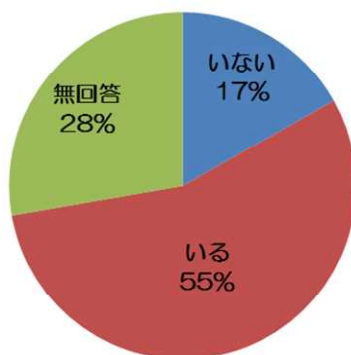


●趣味の会、同好会などがあり、計画的に活動していますか。

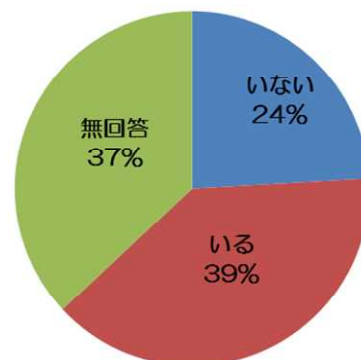


- ・老人会も婦人会も峰町の大きな地区でなくなることは残念です。
- ・子供会をつくってほしい
- ・子供会や老人会はありますね。

●住民への連絡事項は速やかに伝えられていますか。

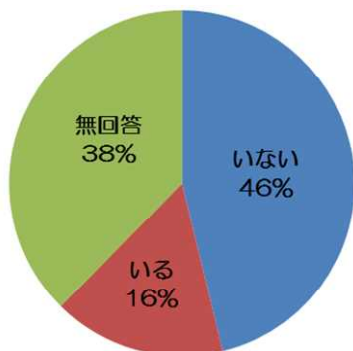


●自治会の運営が円滑になされていますか。

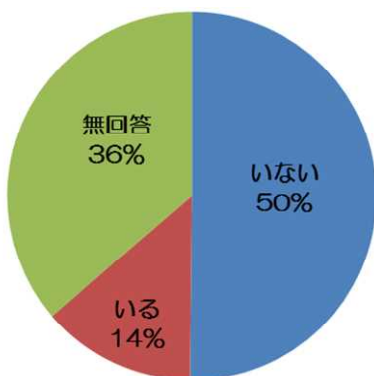


- ・現時の地区活動や周知活動はよくなったと思う。区長が熱心でいい。
- ・区長さんもしっかり頑張ってください。
- ・解決しなければならない。

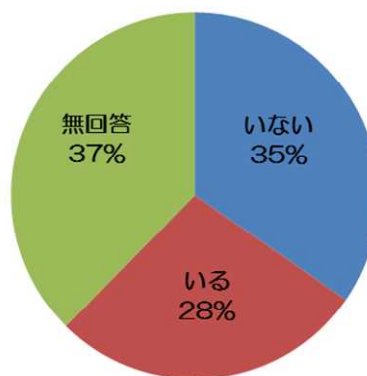
●平素の暮らしで困ったことを、地域で解決する仕組みが作られていますか。



●自治会活動に、子ども、青年、女性、高齢者など戸主以外の意見が反映できる仕組みになっていますか。

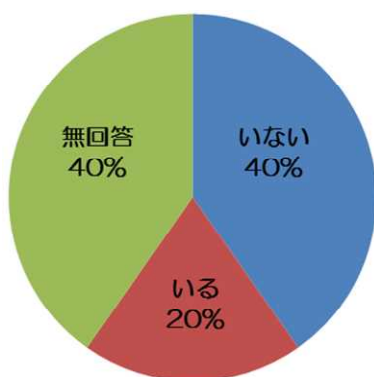


●役員等の世代交代が進んでいますか。

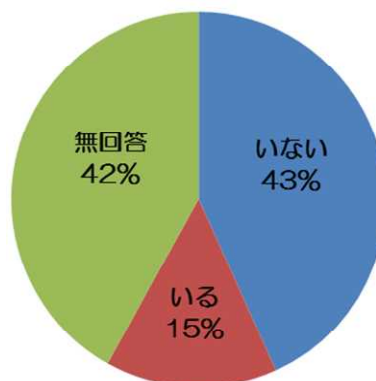


- ・老人クラブ
- ・人口的に無理
- ・若者があまり出席していない（部落総会等）
- ・何の役も同じひとばかり
- ・わからない
- ・まず支え合う気持ちを持つことから始めよう

●単なる要望団体ではなく、地域のことは地域で解決するという基本的姿勢は浸透していますか。



●他の地域や組織等と共同した活動を行ったり、話し合う仕組みができていますか。



## 要望・意見等なんでも書いて下さい。

- 佐賀地区はよそ者が多いところだと耳にしたことがあります。例えば、佐賀地区の文化・案内などをまとめた簡単な冊子（手作り）などがあれば、移住の際により愛着が持てるのではないかと思います。
- 小姓島
- 全くない（残念な事です）
- 漁場が近く他地区より水揚げが多くて恵まれていると思う。
- 定置網の多さは嬉しいけど漁があってもみんなで買える状態にない。時間に関係なく漁協で買えるようになると地区民は助かるのではないのでしょうか。伝承文化が佐賀地区にもっと欲しい。
- ダイレックスなど便利な商業施設がある。
- 誇れるもの、自慢できるものが何もない佐賀地区です。これから先、佐賀にはこんな行事があるよ、遊びにこんねと言われるような地域になってほしいですね。地区の役員が知恵をしぼり、先頭にたって頑張ってもらいたいと思います。はじめは大変ですが、2回目以降スムーズに行くと思います。役員さん頑張ってください。
- 地区の結びつきは希薄で、他人がよいことをしていればそれをけなす人が多い（協調性がない）、地区役員会もあるようですが、まんねり。一部の意見だけ。よい意見には参加する姿勢がほしい。年に1～2回は区長 OB 会を開き参考意見を聞いたら。
- このような取り組みをしていただき、参加できるものがあれば佐賀地区がより住みやすくなる様、一人では無理な事でも何人かの力で盛り上げられたらうれしい事です。
- バスの便が悪い。病院の所にあるけど中ほどにバスの待合所がほしい。
- 内容がよくわかりません
- 佐賀は他所から来ても、割と住みやすく治安もよい。
- 佐賀地区はしきたりや近所の約束事は少ないが、束縛されない自由度が高いが、助け合う地域の良さはある。
- 特にありません。
- 週末になると、数名の奥様方が公園の掃除、トイレの掃除をしてくださっている様子です。
- 他地区のことはあまり知らないし、長くここに住んでいるけど関心ない。
- 10年後 20年後佐賀地区はどうしたらよいか。それより他の地区から出入りがあるので（少しは若いかな）。元からの人は年をとり介護が必要になり、店は年にとってなくなり銀行も機械だけに。重要な手続きは豊玉へ。年寄りには人をあてにする。できなければしなればよい。若者がいて年寄りの介護があたりまえになり、若者の負担が増え疲れる。年寄りは今のうち身体をきたえ 自分のことは自分で出来るようにして、他の人の手を患わせない。自分の思うとおりならいとはらかに人がいるけれど 相手の生活もある。相手の意見を聞いて、今日はいいかとか様子をうかがい、年寄りのわがままばかり聞いていると疲れる。朝いうことと今言うことがちがうこと。年とったら子にかえる。わがまま、理不尽なことを言う。昔子供のころ親が言ったことは、今、逆の立場になる。年寄りの中にも派閥はある。